

1 題材名 高校進学へのシミュレーションをしてみよう

2 題材について

本学級には、2名の生徒が在籍している。Aは、小学1年生の時に、高機能自閉症・アスペルガー一症候群の重度と診断されている。これまでSST（ソーシャルスキルトレーニング）を実施し、対人関係やコミュニケーションに関する指導を行ってきたことにより、学級でも友達と楽しく生活している姿が見られ、友達同士のトラブルもほとんどなくなった。高校への進学を希望しており、宿題として毎日用意している課題も、忘れずに提出するなど前向きに取り組んでいる。Bは、昨年度の2学期から本学級に在籍している。対人関係に不安をもち、不登校傾向である。最近高校に進学したいという夢をもち、毎日登校することを目標に、遅刻や早退をしながらも登校を続けている。

昨年度、実施した自立活動「20××年の私」の授業で、2年後、5年後、7年後の将来の自分の姿を想像することにより、進路に向けての目標の動機づけを図り、意識を高めることができた。今年度は、高校調べや体験学習、説明会などを通じて、進学したい高校を決定することができた。しかし、それぞれ高校に対する不安があり、最近の会話の中にも度々話題に出るようになってきている。そこで、進学するにあたって不安に思っている点をシミュレーションすることにより、不安な気持ちを軽減し、高校進学に向けての意欲を高められるようにしたいと考え、本題材を設定した。また、学習面と行動面に関する困難さについて、自分で理解している部分とそうでない部分があり、日常場面でも困難をきたす場面が見られる。新しい環境の中で、新たな人間関係やコミュニケーションを構築していくには、自分で判断し、対応する力をつけていくことが今後必要であり、そのためにも自己の特徴を知ることは大切であると考え。

指導にあたっては、昨年作成したシートや写真を見ながら、中学校生活を振り返ることで、自分の成長した点について感得させたい。また高校進学に向けてのアンケートを事前にとり、具体的に解決できることに関しては、写真やビデオなどに記録し、視覚的にわかりやすいものにして、その不安点を解消できるようにしたい。また、具体的に解決できないことに関しては、どうしたらいいのかを話し合いながら、自分の言葉で解決策を導き出せるようにしたい。

Aについては、自分でできていると思っても、他の人からはできていないとみられることがある。最後まで取り組むことができる態度を身に付けさせたい。

Bは、普段から人と接することを避けているため、まずは安心して話のできる雰囲気づくりを行い、Aと一緒に、楽しく意見を交換し合えるようにしたい。また、Bと仲の良い先輩からの手紙を最後に読むことで、進学したいという意欲をさらにもたせたい。

3 生徒の実態と個別目標

氏名	題材における実態	題材における目標
A	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや考えを、相手に伝えることができるが、好きな話題や、自分の伝えたいことを一方的に話そうとすることがある。 優先順位を伝えることで、学習活動にスムーズに入ることができる。 「一人で学校に行けるだろうか」「友達はできるだろうか」など、高校進学に対する不安をもっている。 忘れ物が多く、片付けができない。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達や教師の意見をよく聞きながら、話し合いを進めることができる。 【3-(1)】 中学校生活を振り返りながら、自分の得意・不得意とすることがわかる。 【3-(3)】 高校生活への不安を解消し、これからどんなことをすればよいのかを考え、具体的な目標を設定することができる。 【1-(1)】
B	<ul style="list-style-type: none"> 人と接することを極力避けるが、親しい友達とは会話を楽しむことができる。 質問すると、返答するのに時間がかかる。 高校に進学したいと考えている。しかし、人と関わるのが苦手であり、不安感をもっている。 衛生管理ができない。(髪の手入れ、入浴、服装、歯磨きなど) 	<ul style="list-style-type: none"> 友達との会話を楽しみながら、自分の考えを相手に伝えることができる。 【6-(2)】 高校進学に向けての不安を少なくし、進学に対する意欲をもつことができる。 【2-(1)】

4 指導計画と評価（2時間扱い）

時	学習内容・活動	評価	
		A	B
第1時	○高校説明会で各高校の話聴く。	・自分の行きたい高校をイメージすることができる。	・一緒に参加して、聞くことができる。
朝の会	○生活・学習アンケートを行う。	・自分のできることとできないことがわかる。	・自分の生活を振り返ることができる。
第2時 (本時)	○将来の夢を見つけ、具体的な努力目標を立てる。	・自己の特徴を理解し、具体的な努力目標を設定することができる。	・将来を考え、進路に対する意欲をもつことができる。

5 本時の指導

(1) 個別目標

○A：自己理解を深め、具体的な目標を立てることができる。 【3-(3)】

○B：教師や友達との話し合いの中で、自分の意見を相手に伝えることができる。 【6-(2)】

(2) 準備・資料

年表シート（昨年度のもの）・アンケート・写真・ワークシート・ホワイトボード・PC・プロジェクター

(3) 展開

学習内容・活動	教師の指導・支援と評価 ◎評価（評価の観点：評価方法）		
	全体	A	B
1 始まりのあいさつをする。	・良い姿勢とはっきりした声であいさつができるといいことを伝え、できた時には気持ちが良いことを伝える。	・大きな声で挨拶することや礼をきちんとすることは、社会に出てからも大事なことを伝える。	・視線を合わせてあいさつすると、相手は嬉しいことを伝える。
2 高校進学へのシミュレーションをする。	・本時の流れを板書に提示し、授業の流れをイメージできるようにする。本時の課題に入る前に、まずは中学校生活を振り返ることを伝える。	・興奮して話し続ける時には、落ち着いてゆっくり話をするよう言葉かけをする。	・入学してから、楽しかった行事や緊張したことなど、一つでも感想が言えた時には、共感して大きく頷く。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">高校に入った時の、シミュレーションをしてみよう</div> (1) 本時の学習の見通しをもつ。 ・写真で、今までの行事を振り返る。 (2) 昨年軌跡を振り返る。	・写真の場面での気持ちや思い出を自由に発言できるように、時間を確保する。 ・1年経ってみて、変わったところがあるかどうかを確認しながら、軌跡を年表に新たに書き込ませ意識づけを図る。	・変わった部分については、どうして変わったのか理由を聞き気持ちの変化があったことも成長であることを伝える。 ・学習面については、できていることと、できていないことをよく考えながら、○×で書き込むよう指示する。	・Aの軌跡を見ながら、同じように進路や夢で決まっていることがあれば、話ができるよう言葉かけをする。 ・Aの学習面について、客観的にみてどう思うか感想を聞く。

学習内容・活動	教師の指導・支援と評価 ◎評価（評価の観点：評価方法）		
	全体	A	B
<p>(3) 高校に入った時の具体的な姿をシミュレーションする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高校案内（パンフレット）を利用して、高校の制服を着た姿などを掲示し、これからの活動への意欲づけをする。 ・高校での不安点について、シミュレーションしながら解決策を話し合い、不安を取り除けるようにする。 ・志望する高校は別々だが、お互いの意見を参考にしながら一緒に解決策を話し合えるよう支援する。 ・生活・学習アンケートと照らし合わせながら、自分の課題が何なのかを、自覚できるようにする。 ・これから努力していきたい目標を、用紙に書き、掲示することでさらに意識付けを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・起床時間、登校方法、電車の時間、部活など、事前に聞いていた不安点について、表にまとめ、掲示する。 ・具体的な対処方法を考えられるよう時刻や様子を調べておき本人に正しい情報を伝えられるようにしておく。 ・具体的な解決策が見いだせない時は、教師やBの意見を聞いて、参考にするよう指示する。 ・自分と保護者や教師とのアンケート結果に違いがあることに気付かせ、目標とするポイントを見つけやすくする。 ・新たな目標を自分の言葉で書くことができ、きたことを賞賛し、板書に掲示する。 【3－(3)】 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生活で期待していることは何なのか対話しながら、リラックスした雰囲気をつくれるようにする。 ・自分の志望する高校について、1日の流れが把握できるよう時間ごとの表にすることで努力目標を設定しやすくする。 ・教師やAと意見を交わしながら一緒に解決策を考えることができるよう、活動が停滞している時は会話をつなぐ。 【6－(2)】 ・高校進学だけでなく困難を解決していくことは、これから生きていく上で、大切なことであることを伝え、取り組みやすいものから始めていいことを伝える。 ・Aのように、一つでも目標に書けるものが見つかった時は、用紙に書いてみるよう促す。
<p>3 本時のまとめをする。</p> <p>(1) 本時の学習を振り返る。</p> <p>(2) 今後の学習や生活への見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分の将来に対するイメージをもち、具体的な目標を書くことができる。（板書） ・二人にビデオや手紙によるメッセージが届いていることを伝え、期待感をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分の特徴を理解しこれからの生活で努力していきたいことを具体的に書くことができる。（ワークシート・掲示） ・志望高校の部活顧問のビデオメッセージを見せ、さらに高校進学への希望が膨らむようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎高校に入るシミュレーションを行うことで、不安を取り除き、高校に行きたいという意欲を高めることができる。（観察） ・志望高校に行っている先輩からの手紙を読み、高校進学への意欲が高まるようにする。
<p>4 終わりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達と進路について深く話し合いができたことも、大きな成長の一つであることを伝え、終わりにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来について、いろいろな悩みながらも、これからも、自分の夢に向かって努力するよう励ます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不安や悩みなどを、一人で抱え込まず、誰かに相談したり、助けを求めたりすることを伝える。